

よく考え すぐ実行し 常に最善をつくす

奥州市立東水沢中学校通信

NO.25

令和6年3月8日(金)発行

東風

今年度の学校生活を振り返る ～保護者・PTA役員の立場から～

今年度も残りわずかとなりました。令和5年度は、コロナ禍前に取り組んでいた活動を見直ししながら、生徒たちが楽しいと感じる活動を生徒たちとともに創り上げてまいりました。その陰には学校以外の場で生徒一人一人を支え、励ましていただいた保護者や地域の皆様の存在が欠かせないと感じております。

そこで、生徒たちを支えていただいた保護者やPTAの方々を代表して、PTA役員の3名の皆様に「今年度の学校生活を振り返る」と題して、原稿を執筆していただきましたので、紹介いたします。

来年度も引き続き、生徒の成長を見守り、支援していただきますようお願いいたします。原稿を執筆していただいた3名の役員の皆様、ありがとうございました。

『感謝』

コロナの感染症の分類が昨年5月より5類に移行し、徐々にコロナ前の状態になり、体育祭や文化祭、PTA教養部の講演会を開催することが出来ました。

PTA講演会では、中村文昭さんを講師に迎え、『人のご縁ででっかく生きろ』の題目でご講演いただきました。中村さんのご経験をもとに、人にやる気にさせる様な内容でした。私が印象的だったのは、質疑応答で、生徒が将来の悩みを質問し、中村さんの回答がとても感動的でした。とても良い講演会を開催いただきありがとうございました。

PTA活動は、子供の幸せを願い、父母と教師が共に力を合わせて活動するという目的でやっていきますので、皆様のご協力で楽しくPTA活動をしていきたいと思っております。

コロナで活動が出来ない時期もありましたが、皆様のご協力で3年間活動することが出来ました。感謝を申し上げます。

PTA会長 藤澤明規 様



PTA副会長 赤瀬幸恵 様

日頃よりPTA活動にご理解・ご協力いただき誠にありがとうございます。新型コロナウイルスが5類となり、学校や校外での活動制限が緩和され、今までどおりの活動ができるようになりました。迫力ある応援合戦の声、体育館に響き渡る合唱、マスクのない子どもたちの生き生きとした表情が間近で



見ることができました。

我が家は、今年で東中のPTA活動も最後となります。8年間お世話になりましたが、たくさんの先生方に支えられ、3人とも充実した学校生活を送ることができたと思います(迷惑をかけたことも…)。親として感謝の気持ちでいっぱいです。特に部活動では、吹奏楽、野球、ソフトテニスと3つの種目を追っかけし、我が子だけでなく、子ども達皆が顧問の先生と目標達成を目指し努力していく姿を見ることができたのは親として宝物です。

今後も地域の一員として東中生の活躍を応援していきたいと思っています。



PTA副会長 山形直見 様

今年度の学校生活を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行し、学校行事や部活動で様々な制限が撤廃され、生徒達の生き生きとした表情をたくさん観ることができた1年だったと思います。

特に印象的だったのは、生徒達が体育祭での応援合戦やどっこいしょで、楽しそうにニコニコしながら精一杯声を出しており、観ているこちらもやっと、コロナ禍前に戻ったことを実感できた出来事でした。

部活動では、声出し応援が解禁となり、久しぶりの声出し応援のため、父母で掛け声のアイデアを出し合い、下級生も交えて地区センターで応援練習を行いました。試合展開に合わせて大声で応援できたことは、とてもいい思い出となりました。

最後になりますが、今年度で卒業する三男を含め、長男、二男と都合7年間お世話になりました。学校に行くことが大好きな息子達でした。お世話になった先生方に感謝を申し上げます。



集中して授業に臨む子どもたちの姿をご覧いただきました ～授業参観を行いました～

2月22日(木)、今年度最後の授業参観を行いました。たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、集中して授業に臨む子どもたちの姿を参観していただきました。

参観後は、学年や学級の懇談会を開き、学年や学級、家庭での様子を交流しました。

ご来校された保護者の皆様、大変ありがとうございました。



【各種大会・コンクールの結果】

○土砂災害防止に関する絵画の部(2月19日) 優秀賞 新田理琴